

(様式1)

校種	④・中 どちらかに○	学校番号	47	学校名	宇都宮市立雀宮中央小学校
----	---------------	------	----	-----	--------------

## 令和7年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

自主・自律の精神と豊かな心をもった、心身共に健康な児童を育成する

重点課題：よく考える よく話す よくきく

#### (2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 明るく元気でがんばる子ども（元気）
- 進んで学びよく考える子ども（やる気）
- 心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）

合言葉 「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」

### 2 学校経営の理念

学校は、児童にとって安心かつ安全な場所、楽しく前向きなエネルギーをもった場所ではないと。児童は、ありのままの自分が受け入れられているという安心感の中で自己の存在感を感じ、互いに切磋琢磨して自己を成長させ、困難に負けない強さを身に付けていくことができる。そして、未来に向かって夢をもち、道を切り開いていく力を蓄えることができる。

また、学校は、学びの面白さを実感できることなくしてはならない。児童は、主体的・対話的な学びを通して、分かる楽しさや自己の力の向上に気付いていく。

そのために、教職員が、常に前向きな姿勢で職務に取り組み、児童一人ひとりと向き合い、互いにチームとして支え合い、絶えず研修に励んで専門性を高めて授業力を向上させるとともに、保護者や地域住民と連携し、信頼関係の下、共に子供たちを育てていくことのできる学校づくりを目指す。

### 3 学校経営の方針

- (1) 知・徳・体の調和を図りながら、社会に開かれた教育課程を編成して資質・能力を育み、学校教育目標の実現に努める。
- (2) 児童がよさや可能性を発揮したり協働したりできる、行きがい・居がいのある学校づくりに努める。
- (3) 職員が日々の研究と修養に努めることを推進するとともに、同僚性と自律性を基盤にした職場づくりに努める。
- (4) 地域学校園内の小中学校との連携を深め、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。
- (5) 地域とともにある学校づくりを推進し、家庭・地域・関係機関との連携協力体制の強化に努める。

- (6) 業務の改善と勤務時間を意識し、それぞれが自己の働き方をマネジメントし、全校体制で働き方改革を推進する。

【雀宮地域学校園教育ビジョン】 一人一人が自らのよさを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～生き生きとした活動を通して人とつながる～

#### 4 教育課程編成の方針

##### (1) 基本方針

- ① 日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び同施行規則並びに小学校学習指導要領，栃木県，宇都宮市教育委員会の方針及び指導の重点，「とちぎ教育振興ビジョン」や「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等の示すところに従うとともに，本校学校教育目標，学校経営方針，今年度の努力点等を十分に踏まえて編成する。
- ② 児童の心身の発達の段階の特性及び学校（教職員の構成や指導力・教材教具の整備状況等）や地域の実態（現状・歴史的経緯・教育資源・学習環境等）を考慮して編成を行う。特に地域の人的，物的な教育資源および環境を把握し，教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ③ 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指すため，教科等横断的な視点に立ち，各教科・外国語科・道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動の相互の学びの関連を図る。さらに発展的・系統的な指導ができるよう実施内容や時期をよく検討し，指導配列を有機的に組織するカリキュラムマネジメントの充実に努める。
- ④ 地域学校園教育ビジョンである「一人一人が自らのよさを自覚し，主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～生き生きとした活動を通して人とつながる～」を目指す教育課程となるよう，9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。また地域学校園児童生徒の課題から，今後育てていきたい力を明確にし，共通実践等を取り入れる。
- ⑤ 保護者や地域住民の願いを踏まえ，本校の教育の目指すところを共有し，地域の教育力が生きる社会に開かれた教育課程を編成する。
- ⑥ うつのみや学校マネジメントシステムの学校評価及び各種調査等の結果に基づき，前年度の成果と反省を踏まえ，本校の特色を生かしながら，調和と統一のある教育課程の編成を目指す。

##### (2) 留意点

- ① 基礎基本となる指導内容の重点化を図った指導計画を作成する。
- ② 地域人材の積極的な活用や，T.T，少人数指導等，個に応じた指導を展開する。
- ③ 各教科等の特質に応じた言語活動を工夫し，児童一人一人の言語に関する能力の育成を推進し，学び合う場面を適宜設定する。
- ④ 外国語科や外国語活動では，ALT と協力して学習活動の一層の充実を図る。
- ⑤ 体験的な学習や問題解決的な学習の一層の充実を図る。
- ⑥ 1人1台端末及びその他のICT機器を積極的に活用した授業実践を行う。
- ⑦ 各種学力調査の結果を生かし，指導の改善を通して学力向上に努める。
- ⑧ インクルーシブ教育の充実に向け，学校全体で特別支援教育を推進する。  
・通常の学級における特別な支援を要する児童への指導を充実にし，分かりやすい授業

の展開に努める。

- ・個別の指導計画に基づいた意図的、計画的な指導、支援の展開を図る。
- ・校内支援委員会の方針に基づいた支援チームによる指導の充実を努める。
- ・「かがやきルーム」や「ことばの教室」との連携による指導を充実させる。
- ・特別支援教育に関する研修を充実させ、職員の共通理解を深めるとともに、課題をもつ児童への具体的な指導技術の習得を図る。

⑨ 特別支援学級在籍児童や「ことばの教室」への通級児童の個に応じた能力の伸長を図る。

- ・一人一人の障害特性に応じた教育課程を編成する。
- ・児童一人一人の実態に応じた教育支援計画を作成し、意図的、計画的な指導の実践に努める。
- ・通常学級との積極的な交流を通して、互いを理解し個性を認め合い、協力し合って学校生活を営もうとする態度の育成に努める。

## 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

### （1）学校運営

- ・児童一人ひとりの自己実現（社会的自立）を目指した学業指導の充実を図り、心理的安全性の高い学校づくりを目指す。
- ・障害の有無にかかわらず、個々の違いを認識しつつ、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎を培う。
- ・児童の育成について、家庭・地域と思いを一つにした信頼される学校づくりを推進する。
- ・地域協議会や関係機関及び団体等と連携し、地域の教育資源を生かした活動や幅広い人材の活用を行う地域と共にある開かれた学校をつくる。
- ・○地域学校園教育ビジョンを共有し、9年間を見通した「宮・未来キャリア教育」を推進する。
- ・全教職員が必要な情報を共有し、互いの要請に応え合えるチームづくりを強化する。
- ・業務の改善と勤務時間を意識し、それぞれが自己の働き方をマネジメントできる職員室づくりに努める。
- ・教職員と児童がゴールを共有して教育活動を展開する「雀央っ子が今年がんばること」を実施する（年間2回PDCAサイクルの実行）。

### （2）学習指導：やる気

見通しを立てて主体的に学習に取り組み、課題を解決しながら自分の学びを深めていくように児童を育成する。

- ・ねらいを明確にし、児童が自ら目標を設定することにより学ぶ意欲をもてるようにする。
- ・○ねらいを実現するため、個別最適な学び・協働的な学びの充実を目指した授業づくりに努める。
- ・授業の終わりに、ねらいが実現されたかどうかを振り返る時間を確保し、評価が次の授業改善に生かされ、確実に学習内容が定着していくよう指導の充実を図る。

- ・各教科で身に付けた資質・能力を活用・発揮できるよう、教科等横断的な視点に立って授業計画を立てる。

(3) 児童生徒指導：思いやり

自ら考え、思いを伝え合い、自分も相手も大切にして互いを認め合うことができる児童を育成する。

- ・認め・褒め・励ます指導を行い、自信や自己肯定感・自己有用感を育む。
- ・新たな不登校を生まないために、児童への指導・支援方針について教職員全体で共通理解し、チーム支援の充実を図る。
- ・一人ひとりの特性や困難さに応じた適切な指導を行う。
- ・いじめの解決に向けて自主的な行動を促す機会や場を設定する。
- ・ネットトラブル等の未然防止のため、主体的に判断しインターネットを適切に使用できるよう指導を行う。
- ・〇教育活動全体を通じた「宮っ子心の教育」の推進と道徳の授業の充実を図る。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）：元気

生涯に渡って心身ともに健康で安全な生活を送るために、自ら考え行動できる児童を育成する。

- ・運動に親しみ、運動量を確保する活動を工夫する。
- ・健康を脅かすさまざまな要因の理解と健康を管理する能力を育成する。
- ・〇食事の重要性や栄養バランス等、望ましい食習慣の定着を図る指導の充実を図る。
- ・危険を予測し、自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。

## 6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

## 7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・学校、家庭、地域が一体となり、児童のより良い成長を促す活動を通してコミュニケーション能力を育成する。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ・地域の教育資源等を発掘し、総合的な学習の時間を中心に、発達段階に応じて地域のよさに気付く活動を行う。
- ・校外学習等で地域に目を向け、よさを発見することを通して、地域を愛する心を育成する。
- ・◇地域にある各施設等の協力を得て、WE LOVE 雀宮（雀央サミット）の企画・実践・発表を行う。

## 8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的な考え

- ・地域と一体となって児童を育むためには、地域の実情や学校に対する願いを理解しなければならない。そのために、地域協議会の協力を得ながら学校の教育活動を見直す。

#### ②主な取り組み

- ・6年総合的な学習の時間で「WE LOVE 雀宮」（雀央サミット）を実施する。
- ・学校田での田植え・稲刈り（2・5年生）農業ボランティア・学習支援ボランティアを募る。
- ・あいさつ運動・親子料理教室・雀っ子心の表彰・豊かな心書道展を実施する。

### （2）小中一貫教育・地域学校園

#### ①基本的な考え

- ・地域学校園内の小中学校及び地域との連携を深め、義務教育9年間を見通した系統的・継続的な指導の充実に努める。

#### ②主な取組

- ・教科分科会を通じた各教科の小中一貫した指導の実現と教員の指導力向上を図る。
- ・運動に親しむ姿勢や基礎体力の育成，健康的な生活習慣の確立，食育の推進を図る。
- ・小中学校間での情報共有，相互支援による一貫した児童生徒指導や不登校対策の強化を図る。
- ・小中学校間の交流活動や授業参観等を通して，小中教員の相互理解を推進する。

### （3）不登校対策

#### ①基本的な考え

- ・新たな不登校を生まないため，温かで安心感のある学級づくりを行う。
- ・不登校の兆しの早期発見・早期対応に組織として取り組む。
- ・児童・保護者と信頼関係を築き，早期の段階から組織的・計画的な支援を行う。

#### ②主な取組

- ・安心して考えを伝え合い，互いに高め合える学級集団を育成する。
- ・欠席した児童への電話連絡，家庭訪問，日々の言葉かけを確実に実施する。
- ・不登校対策担当教員を中心とする組織的対応を行う。
- ・児童の状況に応じた別室登校支援を行う。
- ・1人1台端末を活用した学習支援（連絡・課題の提示，AIドリルの活用等）を行う。
- ・Q-Uの結果の分析と活用

### （4）GIGAスクール構想

#### ①基本的な考え

- ・学校教育を支える基盤的なツールとしてのICTの活用を進めていく。

#### ②主な取組

- ・児童，教職員が1人1台端末を文具の一つとして，授業の内外で日常的に活用する。
- ・協働学習支援ツールの活用により，共同閲覧，共同編集等の機能を生かした協働的な学びの充実に努める。
- ・端末を有効活用し校務改善につなげる。（ICT支援員の活用）

### （5）宇都宮学

①基本的な考え

- ・自分たちの市や町に対する理解を深めるために社会科や総合的な学習の時間を中心に、「宇都宮学」や歴史の町である雀宮についての学習に取り組み、郷土の未来を考えたり、魅力を表現したりできるようにする。

②主な取組

- ・校外学習や体験学習などの各種行事と「宇都宮学」を関連付け、主体的な探求活動になるようカリキュラムマネジメントに努める。
- ・3・4年では、社会科と総合的な学習の時間に学習し、郷土宇都宮についての理解を深める。
- ・5・6年では、総合的な学習の時間に学習し、宇都宮の自然と交通、宇都宮の伝統文化について学習し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。

(6) 宮・未来キャリア教育

①基本的な考え

- ・様々な他者との交流による協働的な学びを推進し、「学びに向かう力」を育む。

②主な取組

- ・現在実施している体験活動について、キャリア教育の視点で見直す。
- ・「宮っ子『夢』教室」を実施する。
- ・「宮・未来キャリア・パスポート」を活用する。
- ・中学生との交流活動を実施する。(あいさつ運動、宮っ子チャレンジ等)